

令和元年度 スポーツ科学シンポジウム

「WHAT DO WE LEARN FROM RUGBY AND ITS HISTORY?」開催報告

テーマ 「WHAT DO WE LEARN FROM RUGBY AND ITS HISTORY?」

開催日 令和元年10月31日(木)

開催場所 日本大学三軒茶屋キャンパス1号館3階1310教室

講師 Reginald Clark (レジナルド・クラーク)氏

司会者 益子 俊志 (スポーツ科学部 教授)

主催 日本大学スポーツ科学部スポーツ科学研究所

スポーツ科学研究所では、毎年スポーツ科学に関するシンポジウムを、日本大学三軒茶屋キャンパスにおいて実施しています。

今年度は、ラグビーワールドカップ決勝戦をひかえた令和元年10月31日(木)に、英オックスフォード大学や神戸製鋼でスタンドオフ(SO)として活躍した経歴を持つ客員教授のレジナルド・クラーク氏による講演「WHAT DO WE LEARN FROM RUGBY AND ITS HISTORY?」を開催しました。



講演者 レジナルド・クラーク氏

当日は教職員・学生だけでなく国内外のラグビー関係者も含め約200名の参加があり、日本におけるラグビーの歴史から、現在の日本チームにまで繋がる英国ラグビー精神についての講演は盛会裡に終了いたしました。



スポーツ科学部長との写真